

2026. 2. 10

Tokai University
Educational System
Archives News

❖ 東海大学カナダ北極圏調査隊 ❖

東海大学の往年の学生団体「探検学会」は、1966年末に現在も続く「探検会」に所属していた学生の一部が分離して発足。1974年3月に解散するまで、ネパール学術調査隊や台湾蘭嶼ヤミ族調査隊、アラビア半島縦断隊などを派遣し、多くの成果をあげた。

「カナダ北極圏調査隊」は、探検学会の有志が結成した「極地研究会」が約2年の準備期間を経て、1970年8月に一次隊5名をカナダ北極圏中央部の町ケンブリッジ・ベイへと派遣して調査活動を開始。5カ年計画で始動したが、1971年7月、二次隊の3名がカヌーでの調査行中に遭難。その後は捜索や慰霊碑の建立など調査活動の縮小、計画の変更を余儀なくされた。

2025年10月、極地研究会OBからカナダ北極圏調査隊の関連資料が本学園に寄贈され、当センターで保管することとなった。資料群は写真類を中心に、映像や文書など、2,795点に渡る。写真はコマ数に換算すると全6,899コマにのぼり、OB側ですべてデジタル化、撮影時期や場所、詳細なキーワードを付した状態での移管だった。ここに掲載した写真はそのごく一部である。

これら資料群は本学の学生の活動の記録としてはもとより、1970年代における北極圏の人々の暮らしの記録という面でも価値がある。そのため、本学園からカナダ北極圏のキティクメト文化遺産協会 (Kitikmeot Heritage Society) に働きかけ、双方で利用できるようにした。今後の利活用期待が持たれている。



CONTENTS

02 望星大事典 The Encyclopedia of BOSEI

03 Tokai Fashion Club 15th meeting 付属浦安高等学校・中部部

望星大事典

The
Encyclopedia
of
BOSEI



学校法人東海大学の創立者松前重義と、学園が大切に育んできた「望星」という言葉。それは青年を励ますメッセージ「若き日に汝の希望を星につなげ」に由来する。暗く険しい道のりも、高く輝く希望の星を仰いで力強く進めと——。その姿勢に共感し、その思想に共鳴し、「望星」と名の付く様々なモノ・コトが生まれた。今回の特集ではそれらを一堂に集めて紹介する。いざゆかん、無限に広がる「望星」の宇宙へ——。

望星学塾

1936年、松前重義が東京・武蔵野に開いた私塾。戦争のため活動を休止するも1976年に再開、1982年に学校法人東海大学の機関となる。



松前重義は逓信省に勤める日々の中で、いかに生きるべきか思い悩み、友人に誘われ日曜ごとに内村鑑三の聖書研究会に通うようになった。内村の思想に深く感銘を受け、特にデンマークの、教育による国づくりの歴史に啓発された松前は、生涯を教育に捧げようと決意する。内村が1930年に他界した後も、松前は自宅で数人の同志とともに聖書や教育の研究会を続けた。

1935年、無装荷ケーブル通信方式を発明した功績により、電気学会から浅野博士奨学祝金を授与された松前は、それを元手に武蔵野の自宅近くに浅野博士奨学記念館を建築し

た（6月8日上棟）。1936年1月には日曜集会を中心とした活動を本格化、私塾「望星学塾」の始まりである。

同塾の信条として松前は「若き日に〜」で始まる四カ条を掲げた。そして「望星の名は汝の希望を星につなげに由来する」と書き残している。やがて望星学塾は学校法人東海大学の母胎となり、四カ条は学園の教育の指針を端的に示す言葉ともなっている。



右に「松前重義」、左に「望星学塾」の表札

望星学塾では聖書のほかデンマークの歴史や教育、ペスタロッチの教育理論やシュバイツァーの活動、フイヒテの哲学などを研究し、人生観・歴史観・世界観の涵養が図られた。しかし、戦争の激化、1944年の松前の召集によってその活動は中断を余儀なくされた。



1976年に望星学塾は、青少年の育成を目的に「松前少年柔道塾」を開設して活動を再開（1980年より「松前柔道塾」に改称）。1982年か



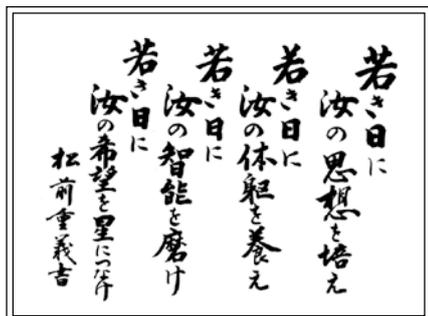
1983年2月、再開第1回の望星講座で米ソの対立をテーマに講演する松前重義

らは学校法人東海大学の一機関として位置づけられ、学園建学の精髓を永遠に伝承することを目的に、新たなスタートを切った。

戦前から開かれていた講演会「望星講座」は、1983年2月に再開。「軍拡による米ソの対立と人類の危機」をテーマに、松前自ら講演に立った。望星講座は月に1回程度開催されており、2025年9月には500回の節目を迎えている。

望星学塾では他にも「望星」と名の付く各種会合を開催している。1993年開始の「望星ゼミナール」は望星講座と同じく広く一般を対象にしているが、戦前の望星学塾で行われていた集会に倣い、参加者と講師の対話に重点が置かれている。

また、2020年に開始された「望星研究会」は、望星学塾の教職員と学園教職員有志の学びの場として実施されている。



東海大学の教育の指針を示す四カ条

学生寮・生徒寮

戦前の望星学塾では、1939年冬に建物の一部を8部屋の寮へと改築し、寄宿生を募集。1940年4月の時点で7名の青年が入寮していた。だが1941年12月に戦争が始まると、寄宿生も、日曜ごとの集会に出席していた通塾生も、次々に召集されていくようになる。1942年末には最後の寄宿生が塾舎を去っていった。



一方で1942年12月に建学した本学園は、1943年4月、静岡県清水市（現静岡市清水区）に航空科学専門学校を開校した。デンマーク国民高等学校を範とし、全寮制教育を展開。清水市内・駒越の校地には「望星寮」が置かれた。同校は戦後



旧制東海大学、駒越校舎の「望星寮」

の1946年に東海大学に昇格したが、次第に学生募集に苦慮することとなり、1955年、東京・渋谷へ工学部を、1958年に文学部を移転する。

次第に学生数を増やしていった本学は、代々木校舎（現渋谷キャンパス）の周辺に「望星寮」「銀漢寮」「北斗寮」という名の3つの学生寮を設けた。



本学園は1955年、東京都渋谷区代々木に所在していた名教学園と合併し、同地に移転。写真奥が構外に建つ木造の「望星寮」。塀を挟み、寮生たちの手前は構内にあったプール

1962年に教養部の授業が神奈川県相模原市の相模校舎で開始されると、約140名の学生を収容する「相模望星学塾」が発足。翌1963年にこの用地・建物は付属相模高等学校に移管・転用される。

教養部は1963年から湘南校舎（神奈川県平塚市、現湘南キャンパス）



湘南・男子望星学塾に所属の学生たち。朝の日課の合同体操。男子塾の建物は現J館とK館、女子塾は現国際会館、体育塾は現湘南クラブハウスとなっている

へと移転。約400名の男子学生を収容する「湘南望星学塾」が開設された。教員と学生が寝食をともにし、学習と思想の薫陶を行う人間形成の道場であった。1967年開設の「体育望星学塾」と1968年開設の「女子望星学塾」をあわせて「湘南三塾」と称されたが、1970年に起きた学園紛争の影響などもあって、その後制度廃止となり、建物も転用された。



こうした伝統を受け継ぎ、現在も学園の様々な教育機関、団体の学生寮・生徒寮に「望星学塾」「望星塾」「望星寮」といった名称が付けられるケースが多い。今回調査した各施設の概要を下表にまとめた。

学園教育機関・組織にある、名称に「望星」が含まれる学生・生徒寮

機関・組織	名称	詳細
東海大学(湘南)硬式野球部	望星学塾	合宿所(男子学生寮)。神奈川県平塚市土屋のグラウンドに隣接。1975年竣工の旧棟と2003年竣工の新館、あわせて約110人収容
東海大学(湘南)陸上競技部	望星寮	長距離ブロックの部員が対象の合宿所。2004年竣工。S造。22部屋30人収容
東海大学(九州)硬式野球部	阿蘇望星学塾*	阿蘇校舎そばに1988年に竣工した合宿所。熊本地震の影響で2018年に解体
付属浦安高等学校	望星塾	男子寮。1987年3月竣工。RC造5階建て。29部屋50人収容。指定の運動部に所属する者が入寮可。当初は「望星学塾」だったが変更された
付属相模高等学校	望星寮*	かつて「野球部望星寮」「柔道部望星寮」の名称が使われていたが、2015年ごろから「野球部寮」「柔道部寮」と呼称している
付属静岡翔洋高等学校	望星塾	硬式野球部(男子)寮。1993年2月竣工。RC造4階建て。24部屋96人収容
付属熊本星翔高等学校	第一望星寮	1985年6月竣工の男子寮。RC造4階建て。32部屋(1室3名)で約90人収容
付属諏訪高等学校	望星学塾	男子寮。2000年8月竣工。SRC造、地上3階・地下1階建て。2階・3階の居室は計24部屋96人収容。指定の運動部に所属し、自宅からの通学が困難な者が入寮可。1階は入寮生以外も利用可能な食堂
付属札幌高等学校	札幌望星塾	男子寮。2016年3月竣工。RC造5階建て。全個室160人収容。指定の運動部に所属する者が入寮可
付属福岡高等学校	望星研修寮	柔道部(男子)寮。1998年3月竣工。SRC造3階建ての1階部分。8部屋24人収容
付属福岡高等学校	体育望星研修寮	硬式野球部(男子)寮。1988年3月竣工。RC造2階建て。19部屋38人収容
付属甲府高等学校	第一望星寮	男子寮。2019年4月から運用。S造4階建て。全個室158人収容。寮生が一斉に集える食堂「望星ホール」はWi-Fi環境も整い、部活動のミーティングにも利用可
付属甲府高等学校	第二望星寮	女子寮。2010年4月から運用。RC造4階建て。12部屋24人収容
付属甲府高等学校	第三望星寮	野球部(男子)寮。2014年4月から運用。S造4階建て。14部屋28人収容

*印は現存しないか、現在は改称した建物

S造=鉄骨造/RC造=鉄筋コンクリート造/SRC造=鉄骨鉄筋コンクリート造

東海大学付属望星高等学校

東京都渋谷区代々木にある通信制の高等学校で、学園付属校の一つ。

1959年4月に「東海大学付属高等学校通信教育部」として開設、1963年4月に望星高校として独立した。開設当初はFMラジオを用いた通信教育を展開。後に衛星放送で、現在はインターネットで通信教育講座を配信している。

一時期は静岡、熊本、北海道、福岡の各地に広域校を開設。また単位制コースも設置したが、現在は通信制課程と技能連携校における教育に軸足を置いている。



望星高校だけに「望星」と名の付くモノ・コトも多い。文化祭を「望星祭」の名で実施したこともあったほか、2005年には北海道校で、生徒が札幌～旭川間約153kmを自転

車で走破する総合学習「ツールド望星」を実施（下写真左）。また2004年ごろから神奈川県相模原市でNPO法人の協力を得て森林保護活動

「望星の森」を展開（下写真右）。生徒有志による部活動（ボランティア部）として始まった植林、間伐、枝打ち、下草刈りといった取り組みは、やがて学校全体へと広がり、2008年度にはSPP(サイエンス・パートナー



2021年に竣工した望星高校の新校舎（東京都渋谷区）



シップ・プロジェクト。実施主体は科学技術振興機構）に採択されるまでに発展。二酸化炭素の吸収量を測定することで間伐の効果を科学的に考察するなど、学びを深める場となった（2024年度で活動は終了）。



望星丸

学園が所有する海洋調査研修船。東海大学では1962年にわが国初で唯一の海洋学部を静岡県・清水に開設。同年「海洋調査実習船」として「東海大学丸」（旧静岡県漁業指導船「4代目富士丸」、191トン）を、次いで1968年に「東海大学丸二世」（新造船、702トン）を就航させた。

1971年に水産庁から監視船「東光丸」を購入、これを改装して「望

星丸」と命名した（1,103トン）。その後、初代望星丸の廃船処分にあたり水産大学校から「耕洋丸」を購入、改装し1979年、「望星丸二世」（1,218トン）として就航させた。

現行の「望星丸」は3代目に当たり、学園の建学50周年記念事業の一環で建造、1993年に就航した。国際総トン数2,174トン。全長87.98m、乗船定員190名（乗組員含む）。第1種国際航海旅客船としての資格を有し、様々な調査・研究に活用されるほか、海外研修航海などの国際交流でも利用されている。



このほか海洋学部では小型舟艇の「望星号」（4.7トン）を運用していた。元は静岡県由比町漁協所有のサクラエビ曳き網漁船で、学部開設の翌年1963年に就航。学生たちに親しまれたが、老朽化のため1971年に廃船となった。



写真は上から「望星丸（初代）」、「望星丸二世」、小型舟艇「望星号」



1993年に就航した海洋調査研修船「望星丸」

デンマーク望星国民高等学校

デンマークの教育機関、国民高等学校（フォルケホイスコーレ）の一つ。体育系という特色を持ち、柔道をはじめとした武道、日本の伝統文化、日本語に関する学びも提供している。現地での表記は「Idrætshøjskolen Bosei」。



松前重義とその同志によって開かれた私塾・望星学塾、同塾を母胎として建学した東海大学は、デンマークが戦争の荒廃から復興する力となった、同国の教育を範としている。

1988年4月、東海大学はデンマ

ークの首都・コペンハーゲンの郊外プレストに初の海外教育機関「東海大学附属デンマーク校」を開校。主に在欧日本人の子女を対象としていたが、2008年3月に閉校となった。2009年、その跡地に開校したのが「望星国民高等学校」である。

国民高等学校はデンマークで義務教育を終えた者が進む選択肢の一つで、学位取得を目的としない成人教育の課程。望星国民高等学校には各国から柔道や空手、日本語を学ぶ者、



旧付属デンマーク校の施設が活用されている。またテコンドーや韓国語を学ぶ者らが集まっている。

東海大学は同校と協定を結んでおり、春学期・秋学期それぞれに約1カ月間の留学プログラムが設けられている。

望星柔道アカデミー

カナダ・オンタリオ州の州都トロントにある柔道クラブ。東海大学で稽古を積んだデービッド・ミラー氏が2023年9月、郷里に開設した。

ミラー氏は東海大学柔道部で1988年から9年間学び、1995年に

カナダ柔道選手権無差別級で優勝。1994年から3年間は望星学塾・松前柔道塾で指導者としての研修も行った。

ミラー氏は帰国後、トロントにある私立男子校ロイヤル・セント・ジョージ・カレッジ（RSGC）をはじめ複数校で教員を務めながら、自身で柔道クラブを立ち上げるなど指導者として活動。2014年9月にRSGCと松前柔道塾が交流協定を締結した際にも橋渡し役として中核を担った。



◀シンボルマークには創立者揮毫の第1次月刊『望星』（次ページ左下参照）の題字を使用



望星柔道アカデミーは週2回、RSGCの施設を利用して稽古を行っている。2025年9月の約1カ月、望星学塾の三浦玲那職員（写真手前青の柔道着）がRSGCで研修、ともに汗を流した

2020年以降、新型コロナウイルス感染症の影響で、経営する柔道クラブの危機に瀕したミラー氏は、再起を期して「望星」の名を掲げることを決意。学園からの使用許可を得て再出発した「望星柔道アカデミー」は現在、オンタリオ州で最大の会員を擁するクラブへと復興を遂げた。



ミラー氏と教え子らは2015年にトロントで合宿形式の研修「BOSEI JUDO CAMP」を開催。それが派生し、2023年、2025年にはポーランドでも「BOSEI」を冠した国際キャンプが開かれた。

松前重義の掲げた理想——柔道を通じた国際理解、世界平和の実現に向け、活動が続けられている。

ホテル望星

オーストリア・ウィーン市に1991年7月開業した4つ星ホテル。5階建て、200の客室に400人収容。大小会議室やレストラン等を備える。

東海大学の創立者の理念に共鳴したウィーン市の協力で、1984年11月に「東海大学松前武道センター」

がオープン。周辺をスポーツ・レジャー公園として整備する同市の構想に沿って、同センター隣接地に宿泊施設として建設・開業した。

なお、松前武道センターは2007年7月に本学からウィーン市に運営・管理を移管したが、現在も同市によってスポーツ施設として活用されている。



ホテル望星の玄関前で、松前国際友好財団の関係者ら。1995年12月撮影

望星アリーナ

東海大学附属甲府高等学校（山梨県）の武道館。構内に2023年6月竣工した（7月8日竣工式）。鉄骨造2階建て、延べ床面積1198.60㎡。

1階が柔道場、2階が多目的ホールとなっており、剣道部やダンス部の活動のほか、体育の授業や学年集会、校友会の行事などに利用される。

トレーニングスペースや更衣室、シャワー室および空調も完備。周囲は生徒らの憩いの場になるようにと緑化されている。



既存の武道館の老朽化に伴い、正門に入って右手（西側）に建てられた

月刊『望星』

月刊誌。第1次と第2次に分けられる。

第1次『望星』は学園の創立者松前重義が1946年7月10日付で創刊。編集兼発行者は妻の松前信子、発行所は望星社（東京都北多摩郡武蔵野町）、創刊号は全32ページ、定価は1円50銭だった。戦後混迷する世の中、特に青年に対し、希望を持って前進しようと誌面でメッセージを送り続けた。紙の不足などによりたびたび欠号し、1948年2月号が最終号となった。

以下に松前重義が創刊号の編集後記として掲げた文章を紹介する。

「個人雑誌に近い雑誌を発行することにした。（中略）国民は等しく希望の星を探し求めて居る。国家と民族とは吹きまくる暴風雨の中に対岸遠く灯台の光を待望して居る。私も亦かすかなりと雖も清らかなる希望の星を探し求めて居る。よしや其

の距離は無限の彼方にあらうとも我等は聖なる希望を星に繋ぐ。称して『望星』と言ふ。青年の魂の希望の消息である。（中略）本誌は青年の友たらんことを欲する。本誌は理論の書ではない。政治、経済、哲学、宗教、學術何れの書でもない。愛国的情熱と理想世界探究の書である。（中略）私は悲観しない。為政者が如何に腐敗し様とも、国民が如何に自棄の淵に沈んだかの如くに見ゆるとも、日本には希望がある。（中略）希望を青年に見出さう。そしてうまず、たはまず、国家永遠の基礎工事にかゝらう。」

第2次『望星』は1970年6月10日付で創刊。発行所は東海教育研究所（東京都新宿区、松前重義初代所長）。当初のキャッチコピーは「21世紀を望んで 人間を考え未来を創造する」。その後「明日への視点をさぐる」「考える人の実感マガジン」と変遷した。

当初から「教育総合誌」を標ぼうし学園関係者も多数誌面に登場。教育に留まらず時代や社会のニーズに合わせ様々なテーマを取り上げた。2024年10月号で紙媒体としての発行を終了。足掛け55年、増刊号なども含め通巻は665号を数えた。同11月からウェブマガジンとして新たなスタートを切っている。キャッチコピーは「放課後のガクモン」。

第2次『望星』誌面には「望星歌壇」「望星俳壇」など「望星」を冠したコーナーがあったほか、別途多彩なテーマで「望星ライブラリー」も刊行。ウェブ版の現在も「望星インタビュー」などがある。

▼図版は左から第1次『望星』創刊号表紙／同1ページ掲載の巻頭言／第2次『望星』創刊号表紙（当初1年ほど変形判＝210×182mm、以後A5判／右端は紙媒体での最終号にあたる2024年10月号表紙。ウェブ望星は下記アドレスか右の二次元コードからアクセスを

<https://web-bosei.jp>



望星台

東海大学医学部ならびに医学部付属病院のある伊勢原キャンパス（神奈川県伊勢原市）の、学園内における旧称。現在は構内の食堂「レストラン望星台」にその名残を留める。



伊勢原キャンパス1号館にはショッピングモール「望星モール」があり、1号館南側の別棟「望星会館」とあわせ、花屋や洋装店、書店「ブックス望星」やカフェテラス



▲伊勢原1号館には現在も「望星モール」があるが、銀行のATMコーナー、コンビニエンスストア、教職員の休憩所であるラウンジなどに縮小されている

「BOHSEI」などが入居していた。望星会館は新病院棟（5号館、2005年竣工）の建設に伴い取り壊されている。

また、2021年4月には医学部総合診療学系小児科学が中心となって「望星台こども医療推進コンソーシ

ウム」を立ち上げた。伊勢原の医学部付属病院、医学部付属八王子病院を中心に近隣病院の小児科医が集い、小児医療の発展に寄与することを目的に活動を展開している。



レストラン望星台は伊勢原キャンパス2号館・健診センターに併設。地階だが採光があり、明るく温かな雰囲気。計228席（一般156席、健診センター利用者72席）と広々としている。営業は月～土曜の11時～15時（ラストオーダー14時半、日曜と祝日、第2・第4土曜など病院休診日は休業）。レストランのみの利用も可能



国道246号線から伊勢原キャンパスへと続く道の途中、渋田川にかかる橋には「望星橋」という名が付けられている

望星〇〇クリニック

医療法人社団松和会が運営する診療所。1975年11月、神奈川県秦野市に「大根クリニック」（現・望星大根クリニック）を開院。1977年1月に松和会が設立された。

大根クリニックは伊勢原の東海大学医学部付属病院で人工透析を導入した患者が、透析治療を受けられるようにと（特に夜間に透析を行うサテライト施設として）開院した経緯

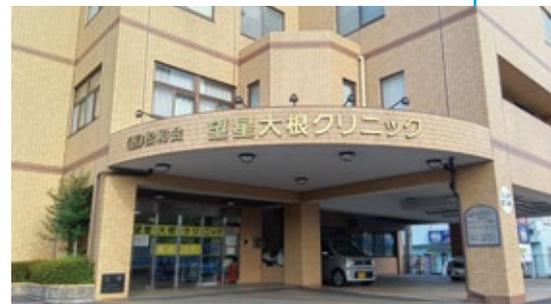
がある。

現在同法人が運営する「望星」を冠したクリニックは、神奈川、東京、千葉エリアに10カ所ある。



埼玉県さいたま市には医療法人社団望星会が運営する「望星病院」「望星クリニック」「望星東クリニック」があり、やはり人工透析を中心に医療を提供している。さらに同法人は千葉県木更津市で介護老人保健施設「望星さつき苑」を運営している。

また、静岡県沼津市には「望星第一クリニック」があるが、こちらは医療法人駿東育愛会の運営。



望星大根クリニックは東海大学湘南キャンパスの最寄り駅、小田急線・東海大学前駅南口から徒歩3分

望星薬局

株式会社望星薬局が運営する薬局。本社は神奈川県伊勢原市。医療機関が発行する処方箋に基づく調剤



伊勢原の本局。医学部付属病院のすぐそばにある

業務を行う。

1975年2月の東海大学医学部付属病院の開院と時を同じくして会社設立。同年10月、同病院そばに1号店（本局）が開局した。現在は13店舗（うち神奈川県下に10店舗）を展開している。



▲望星薬局のロゴマークとキャッチフレーズ

望星サイエンス

望星サイエンス株式会社。医療関連機器、医療材料の販売を手掛ける。1977年6月に神奈川県愛甲郡で創業、現在の本社は同県横浜市都筑区。

東海大学医学部付属病院をはじめとする神奈川県、また東京都を中心とする多くの基幹病院等に各種医療機器や材料を納めるほか、医療施設内のコンビニエンスストアや売店等の運営も行う。

望星会

東海大学における、学生の課外活動団体（クラブ・サークル等）の連合組織の旧称。1960年に代々木校舎で発足、湘南キャンパスに拠点を移した後も、「文化部連合会」「体育会」とともに、長く「有志3団体」と呼ばれてきたが、2024年4月に「文化部連合会」と統合、「クラブ連合会」となった。

望星会には発足当初から「応援団」

や「吹奏楽団（現・吹奏楽研究会）」などが所属。単に自分たちの興味関心を満たすだけでなく、奉仕と還元 の精神を持ち、大学や学園、ひいては社会に貢献することを目指した。



望星会では1968年から機関紙『望星新聞』を発行。1972年からは年度初めのオリエンテーション期間中に所属団体が活動をアピールする『望星祭』を実施、さらに同年度から主に6月の1週間程度に『望星期間』と題した、やはり活動の成果を発表する場を設けていた。



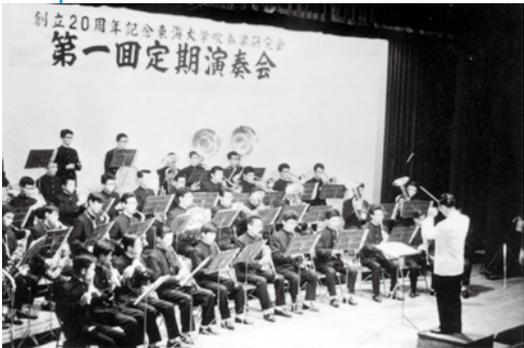
また、1962年に静岡・清水「折戸校舎（現静岡キャンパス）」に海洋学部が開設してほどなく、『望星会折戸支部』が発足。後に『折戸望星会』として独立、1974年からは『海洋望星会』と改名し、『海洋望星会沼津支部』も置かれた。



▲横断幕を掲げて湘南キャンパスを練り歩き、望星期間の開催をアピール（1996年）
▼望星期間では1996年からしばらく、所属団体と市民が出店するフリーマーケットも実施。奉仕と還元 の精神から、売上金は福祉団体等へ寄付された（2001年）



▲1970年発行の10周年記念誌『望星会 その位置と性格』▶2010年発行の『望星会50周年記念誌 輝く星』



吹奏楽研究会の第1回定期演奏会は1962年10月26日、東京・中野公会堂で開催。学園建学20周年を記念し、演奏後に祝賀会が開かれた

望星塚

【1】東海大学湘南キャンパスにあるモニュメント。【2】学園創立者松前重義ならびに親族の墓所。



【1】神奈川県平塚市の東海大学湘南キャンパスが1963年に開設される前、現在の1号館A翼がある場所の脇に、円形の古墳があった。発掘調査を行ったが、ひつぎや埋葬品類はなく、年代も不詳とされた。その古墳を北門の脇に移設保存し、「望星塚」と名付けた。

1969年11月1日付で碑が建てられ、添えられた銘板には、湘南キャンパスの校地提供者210名の名前を刻み、謝意を表している。なお、碑は銘板とともに1990年、現在のキャンパス北側、神奈川県道613号(曾屋鶴巻線)沿いに移設された。



▲◀湘南キャンパス北門そば、県道沿いに設置された「望星塚」の石碑とそれを説明する銘板

▶西多摩霊園の一角に建つ「望星」の塚。湘南の石碑と異なり、正確には「望星塚」とは刻まれていないが、「望星塚」と呼び習わされている

【2】東京都あきる野市・西多摩霊園にある松前家の墓所。碑の建立と、「望星塚」と命名されたのは1991年9月1日と刻まれている。また改めて《この塚に命名した「望星」は、「若き日に汝の希望を星につなげ」という松前重義博士が青年に与えた言葉を象徴したものである。》との説明が添えられている。



望星の杜

東海大学札幌キャンパス内、「光風園」と校舎を結ぶ遊歩道周辺エリアの名称。1999年9月11日、当時の北海道東海大学は、札幌キャンパス敷地内にある研究林「光風園」と、



校舎群とを結ぶ遊歩道周辺を「望星の杜」と命名し、植樹贈呈式と記念碑の除幕式を挙行了た。

また、2001年10月29日には北海道東海大学連合後援会が創立者生誕100年を記念し、望星の杜にタイムカプセルを設置している。

◀1999年当時の札幌キャンパス。写真手前、左下に写るのが光風園、トンネルの上に整備中の遊歩道。▼タイムカプセルは設置から100年後の2101年に開封予定



望星亭

東海大学ヨーロッパ学術センター内にある茶室の名称。



同センターは1970年9月、日本とヨーロッパ諸国との学術・文化交流を促進するため、デンマークの協力を得て同国コペンハーゲン市郊外のヴェズベックに開設。1971年に数奇屋造りの日本家屋が建てられ、その中に「望星亭」と「和敬庵」の2つの茶室が設けられた。それぞれ京都にある表千家の「残月亭」と「不審庵」を模している。

望星の間

東京都千代田区の霞が関ビル内にかつてあった「東海大学校友会館」の、1室に付けられた名称。



東海大学校友会館は1969年4月1日に霞が関ビル33階にオープン。2009年5月に35階に移転した。新型コロナウイルス感染症拡大などの影響から、2020年7月31日をもって閉館した。

校友会館は各種シンポジウムや会議、会合や宴会などに利用できる大小11部屋に加え、レストランなども備えていた。東海大学の開く国際会議や講演会、セミナーや記者発表などの会場として、また同窓会員や後援会員ら学園校友会関係者による

会合など多岐にわたって活用された。さらに東京都心という利便性の高さから、周辺の企業や官公庁など学園外からの利用者も多かった。

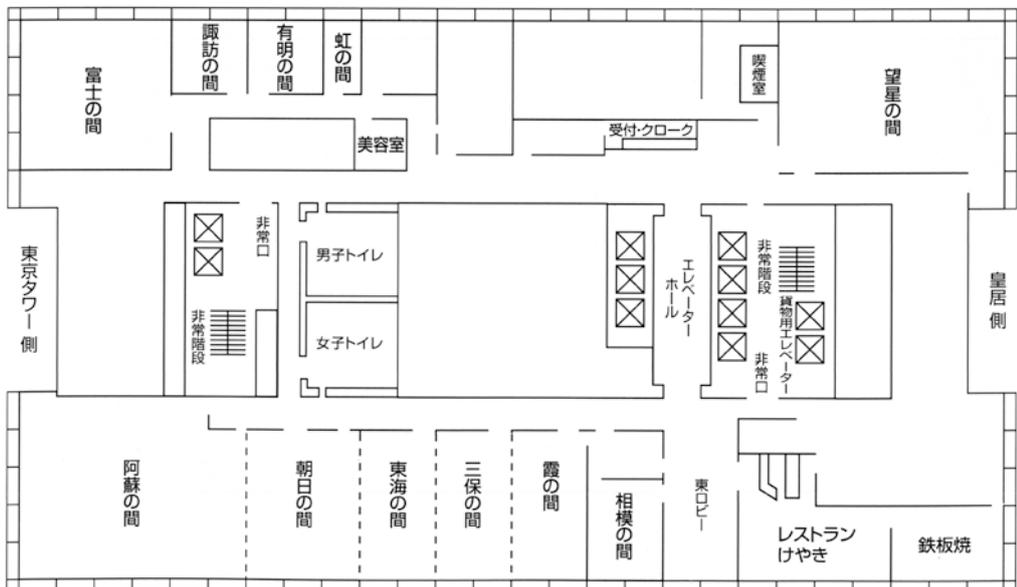
11の部屋の名前には「望星」のほか、「三保」「富士」「相模」「阿蘇」「諏訪」といった学園と縁のある地名などが用いられていた。

2017年11月4日、学校法人東海大学の建学75周年記念祝賀会が校友会館で開催。望星の間では写真の展示会が開かれた



▼校友会館のレイアウト図。望星の間の面積は250㎡。北側の角にあり、窓から皇居や国会議事堂を見渡すことができた

赤坂 新宿側



新橋 東京湾側



2019年7月24日に行われた、東海大学校友会館開館50周年記念祝賀会。阿蘇・朝日・東海・三保・霞の5部屋は間仕切りが可動式で、一つの会場として利用することも可能だった

同窓会など

東海大学同窓会は、東海大学の前身である航空科学専門学校の1期生が1945年9月に卒業したのを機に発足し、以来80年の歴史を紡いできた。同窓会総体はもとより、地域ごと、学部学科ごとなどでも活発に活動が展開されているが、加えて、企業内や官公庁内に組織された同窓会、経営者や教員が集う同窓会など、様々な枠組みの会も存在している。そうした集まりの中に、「望星」の名を冠したものがあ

る。東海大学卒業生による企業内同窓会で草分け的な存在といえるのが、1995年に発足した「**荏原望星会**」で、株式会社荏原製作所およびその関連組織に在籍する者で構成されている。

そのほか、「**大成建設望星会**」「**NEC望星会**」「**日野自動車望星会**」などの企業内同窓会があるほか、「**東急グループ望星会**」といったグループ企業を横断して結成された同窓会もある。

また、東京消防庁や千葉県庁にも「望星」を冠した同窓会がある。

以下に名称に「望星」を含む同窓会関連組織、施設を紹介する。

★横浜望星倶楽部

東海大学卒業生による、神奈川を中心とした企業経営者の集まり。1994年発足。

★望星ソフトウェア同友会

東海大学卒業生による、IT系企業経営者の会。

★望星技術士会

技術士の資格を持つ東海大学卒業生で構成される同窓会。2015年11月発足。

★不動産建設望星会

不動産や建設などに関わる、東海大学および付属校出身者で構成

される同窓会。2007年9月発足。

★ホテル・旅館望星会

ホテルや旅館等の関連業界で活躍する、東海大学卒業生で構成される同窓会。2024年発足。

★望星クラブ

1965年、東京・新宿に開設された東海大学同窓会の集会室。同窓会事務局が東京都新宿区角筈1丁目1番の新宿東海ビル（現在の新宿3丁目27番4号、新宿御幸ビル）に置かれていた当時、事務局に隣接して開設。約50名分のソファやテーブルを備えていた。1969年に霞が関ビル内に校友会館が、1970年に湘南キャンパスそばに同窓会館が開設され、その役目を譲った。



1969年7月、東京・新宿にあった「望星クラブ」で開催された同窓会の様子

★東海望星会

毎年9月に熊本県熊本市内で行われる「藤崎八幡宮秋季例大祭」に、東海大学付属熊本星翔高等学校（旧付属第二校等学校）同窓会の一組織として参加、奉納を行う団体。

★宅建望星会

宅地建物取引業に従事する、東海大学付属熊本星翔高等学校（旧付属第二校等学校）卒業生の団体（同窓会とは別組織）。定期的に役員会を実施し、会員向けニュースや会員企業の物件紹介等を行っている。

★八代望星会

熊本県八代地区の出身ならびに八代地区に勤務している、東海大学（旧九州東海大学を含む）および東海大学付属熊本星翔高等学校

（旧付属第二校等学校）卒業生の会（高校・大学の合同組織）。高校同窓会としては八代支部の位置づけにある。

奨学金

★医療技術望星奨学金

旧東海大学医療技術短期大学の学生を対象とした、かつての奨学金制度。同短大が開学した1974年に制定（同短大は2022年3月に閉学）。学業、人物ともに優秀な学生に、授業料相当額などを貸与したもの。卒業後医学部付属病院に看護職員として一定期間勤務した場合、返済が猶予および免除された。

★医学部看護学科望星奨学金

東海大学医学部看護学科の学生を対象とした奨学金制度。1995年に「東海大学健康科学部望星奨学金」として制定され、2009年に現名称に変更された。

学業、人物ともに優秀な学生に奨学金を貸与し、経済的に支援するもので、卒業後医学部付属病院に看護職員として一定期間勤務した場合、返還が猶予および免除される。

その他

★夕張望星塾

1989年から当時の北海道東海大学と、夕張市の共催で開かれた勉強会。第1回は同年3月29日に開催。大学教員らによる市若者への講話などを通じ、人材交流や人材育成を図り、地域の活性化を目指した。

★望星旗少年武道大会

東海大学が主宰していた武道大会。第1回柔道の部は1982年11月3日、関東近隣の32道場が参加し、湘南校舎武道館で開催された。剣道の部はそれ以前から開催

されていたとされているが、詳細は不明。

★望星理工学研究所

松前重義らを中心として1946年に設立された財団法人英世学園が、福島県の猪苗代湖畔に養成施設「日本国民学舎」を開設。製材を手掛ける「農工科学研究所」を併設した。1947年には製材事業から撤退、分離独立して「財団法人農工科学研究所」となり、高周波による漆器の素地乾燥、超短波治療法、ドングリヤトチの実からのアルコール抽出などの研究を行った。1949年に東京・府中、さらに武蔵野に移転して「望星理工学研究所」と改称。1951年の松前の追放解除まで活動を継続し

た。研究成果は東海大学の各部門の研究機関に引き継がれた。

★望星企業株式会社

1974年2月に設立された東海

◎結びに——望星の精神

8ページで紹介した『望星会その位置と性格』に、松前重義の寄稿が掲載されている。その中で松前は、「私は多くの苦難に遭遇した。役人としての誠^{あるい}に理想にほど遠い生活をしながらも、或は戦争中戦争に反対し、東条首相によって二等兵として戦場に送られたその時も、或は終戦後において政治追放として^{いわゆ}る身辺の束縛を受けたその時も、或はまたその後国会議員と

大学の関連企業。1981年8月に東海設備機材株式会社、東海メディカル株式会社と合併し、現在の東海教育産業株式会社と改称。

なって本学の前進に努力したその時も、片時として本学の建設を忘れなかったのである。」と半生を回想し、「志を大きく高くそして聖なる野望をもつということは、そのものは即ち望星の精神である。」と説いている。



今回誌面で紹介した以外に、「望星」と名の付くモノ・コトをご存知の方は学園史資料センターまで情報をお寄せください(連絡先は巻末に記載)。

学園史資料センター日録 (抄録)

2024年4月～2025年3月

【2024年4月】

25日 全国大学史資料協議会(大学史協)東日本部会第220回幹事会参加(於東京都八王子市・中央大学多摩キャンパス)

【5月】

20日 東海大学海洋学部総合資料センターにて収蔵資料点検作業(～21日、於静岡県静岡市)

【6月】

4日 大学史協東日本部会2024年度総会、第221回幹事会参加(於中央大学多摩キャンパス)

13日 東海大学付属静岡翔洋高等学校・中等部にて資料収集調査作業(於静岡県静岡市)

18日 神奈川県資料室研究会(神資研)例会参加(於神奈川県横浜市・海洋研究開発機構横浜研究所)

【7月】

13日 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会2024年度総会参加(オンライン)

23日 大学史協東日本部会第138回研究会参加(於東京都千代田区・明治大学駿河台キャンパス)

【8月】

1日 大学史協東日本部会第222回幹事会参加(オンライン)

6日 東海大学海洋学部総合資料センターにて収蔵資料点検作業(～7日)

【9月】

17日 東海大学海洋学部総合資料センターにて収蔵資料点検作業(～18日)

19日 神資研例会参加(於神奈川県横浜市・神奈川大学みなとみらいキャンパス)

26日 大学史協東日本部会第223回幹事会参加(オンライン)

【10月】

2日 大学史協2024年度総会・全国研究会、見学会参加(～4日、於東京都新宿区・早稲田大学早稲田キャンパス、東京都国分寺市・東京都立公文書館)

【11月】

1日 学校法人東海大学第82回建学記念式典参加(於神奈川県平塚市・東海大学湘南キャンパス)

1日 学園史デジタル展示室にて企画展「東海大学、教育の原点——松前重義 欧州留学の軌跡」公開開始

1日 「故松前達郎先生を偲ぶ献花」会場設

営支援(～3日、於東海大学湘南キャンパス)

3日 東海大学同窓会ホームカミングデー展示支援(於東海大学湘南キャンパス)

26日 東海大学海洋学部総合資料センターにて収蔵資料搬出作業(～27日)

【12月】

5日 大学史協東日本部会第140回研究会、第225回幹事会参加(於東京都小金井市・東京学芸大学)

【2025年1月】

22日 東海大学付属静岡翔洋高等学校・中等部にて資料収集調査作業

23日 大学史協東日本部会第141回研究会、第226回幹事会参加(於東京都多摩市・パルテノン多摩)

【3月】

1日 『東海大学学園史ニュース』No.19発行

5日 東海大学熊本キャンパス資料調査収集整理作業(～7日、於熊本県熊本市)

10日 東海大学札幌キャンパス資料調査収集整理作業(～12日、於北海道札幌市)

18日 第63回学校法人東海大学資料編纂委員会開催(於東京都渋谷区・東海大学渋谷キャンパス)

Tokai Fashion Club

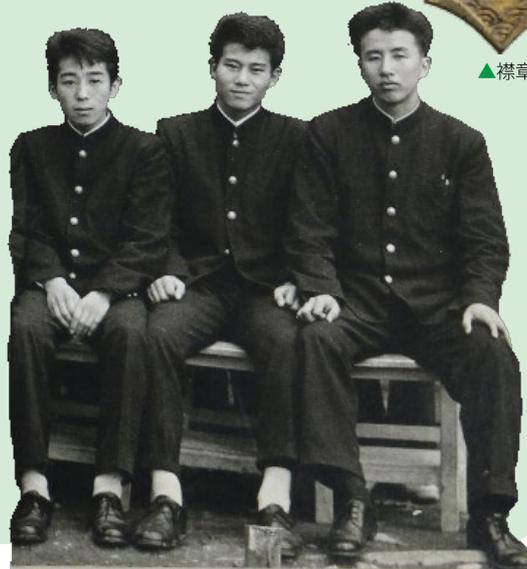
みなさん、1年ぶりのこんにちは！ 学園におけるさまざまな制服の移り変わりを楽しく紹介しながら、アーカイブズ的なポイントもばっちり押さえていこう、というTokai Fashion Club。今回は東海大学付属浦安高等学校・中部です。開校から70年、浦安移転から50年の節目となる今年度、同校の歴史を「制服」に着目してひもといいていきます。それではみんな一緒に、「T.F.C」第15回、元気いっぱい、出発進行～！！

15th meeting 東海大学付属浦安高等学校・中部

学園史編纂員 徳原 彩恵

1955 東海大学付属高等学校開校

●付属浦安高校は1955年4月、東京都渋谷区代々木に、「東海大学付属高等学校」として開校しました。当時は男子校で、制服は黒の詰め襟に制帽を被りました。カバンは当時お馴染みのスタイル。



▲襟章

1975 制服改定

●1975年4月、千葉県浦安市の現所在地に移転し、「東海大学付属浦安高等学校」と校名を変更しました。これを期に、制服も大幅にモデルチェンジ。スーツタイプへと変更しました。ダブルのジャケットに、紺を基調としたネクタイを締めました。



1991 高校共学化、女子制服制定

●1991年4月、浦安高校が男女共学化。浦安中学校の1期生が高校に進学するタイミングでした。新たに制定された女子の制服は、高校男子、また中学校女子との統一性が重視されました。

◀リボンは男子のネクタイと同柄の布地を使用。シングル2つボタンのジャケット、その下にスカートと同柄のベストを着用しました。靴下は白のハイソックスです

▼LL 教室での授業でしょうか。スカートと同柄のベスト、ブラウスの左袖に「TOKAI」の刺しゅうが入っていたことも確認できます



◀1981年の学校案内に掲載された、登下校時のイメージ写真。まだ男子校の時代。カッコリとした印象の学生カバンを手に持っています

▼1985年発行の浦安高校十周年記念誌より。仲間の健闘を全力で応援するスタンドの風景。ネクタイは紺の無地のようです



▼同じく1985年発行の浦安高校十周年記念誌より。東海大学湘南校舎を見学する浦安高生たち。当時流行したマジソン風バッグもあったようです



千葉県浦安市へ移転 東海大学付属浦安高等学校に校名変更

▼ネクタイは当初、紺の無地だったようですが、長い着用期間（次の改定まで30年間！）のあいだに変更があったようです。写真は斜めの縞が入ったレジメンタル柄となっています（2005年の学校案内パンフレットより）



1988

○1988年4月、高校と同じ敷地内（現在地）に「東海大学付属浦安中学校」が開校。当初から男女共学で、男女ともに制服が制定されました。男子の制服は高校と共通。女子のジャケットはシングルタイプでした。



▲中庭でスケッチをする生徒の皆さん。体操着（ジャージ）は、いわゆる「学年色」。写真では青と赤しか写っていませんが、緑学年もあります

東海大学付属浦安中学校開校

◀女子のジャケットはシングル、2つボタン。リボンは学園全体で中学校（中等部）のイメージカラーとなっている黄色でした。スカートはグレーを基調としたチェック柄。靴下は白のクルー丈。靴はローファーを履いています

▼夏服時の授業の様子。女子はスカートと同じ柄のベストを着用していたことが分かります



2005

中学男女制服改定

○2005年4月、浦安高校創立50周年事業の一環で、中高・男女ともに制服を改定することになりました。ジャケット左胸のエンブレムは中高統一のデザイン。落ち着いた雰囲気を出しつつ、中学生はワイシャツ/ブラウスが黄色と、フレッシュな印象です。

◀冬服正装。男女ともジャケットはシングル、2つボタンに。男子のスラックスはジャケットと布地が異なります。▶スカートはグレーを基調としたチェック柄。靴下はグレーのハイソックスです。▼エンブレムはシルバーで「東海・浦安」の頭文字「TU」の花文字を刺しゅう。ゴールドの葉冠と盾が囲むデザイン。下部のリボンは赤・青・緑の学年色でした



▲スクールバッグは手提げ/ショルダー/リュックの3WAY仕様

▼夏はオプションで白のポロシャツを着用することができました

▼サブバッグは使いやすい肩掛けタイプ。荷物が増えても大・丈・夫！

▲夏服正装。ネクタイ/リボンは緑と黒を基調としたレジメンタル柄（斜め縞模様）



2005

高校男女制服改定



● 2005年4月、浦安高校創立50周年事業の一環で、中高・男女ともに制服を改定しました。高校生のワイシャツ/ブラウスはライトブルー。より一層爽やかな印象に。

◀ 冬服正装。男女ともジャケットはシングル3つボタンに。色は黒に近い濃紺です。男子のスラックスはジャケットと布地が異なります。▼男子のスラックスの柄のアップ。グレーを基調としたチェック柄です。ジャケットは無地の濃紺なので、布地の異なるブレザータイプとなります(先代は上下同一柄の「スーツタイプ」)。▶スカートはグレーを基調としたチェック柄。中学校よりも濃いグレーで、落ち着いた印象ですね。

靴下は紺のハイソックス

◀ブレザーのボタン。「東海・浦安」のイニシャル「TU」。▲ブレザー左胸のエンブレムは中学校と同じデザインですが、シルバーとゴールドの配色が逆になっています。下部のリボンは赤・青・緑の学年色。◀▶ネクタイは男女、冬服、夏服ともに着用。紺を基調としたレジメンタル柄です。▼リボンはネクタイと同柄。オプションで着用が可能。▶やはりオプションで、夏には白いポロシャツの着用も可能でした



2016

中等部男女制服改定

● 浦安中学校は開校20周年にあたる2008年4月に「東海大学付属浦安高等学校中等部」に校名を変更。さらに開校30周年に向けて、2016年4月に男女ともに制服を改定しました。特に女子は大幅にモデルチェンジし、生徒からも人気です。

◀ 冬服正装。ジャケットのエンブレムはなくなり、左胸に「TU」の刺しゅうのみのシンプルなデザインに。ネクタイはワンタッチ式。▲女子の首回りは特徴的なノーカラー。通常リボンを取ることはありませんが、取ると上図のようになっています。正装のピンクのリボンには「Tokai Urayasu」の刺しゅう入り。オプションで男子のネクタイと共生地のリボンも。▼男子のベルトには「TU」の刻印入り。▼スカートの柄アップ。裾に「TU」の刺しゅう入り。靴下はグレーのハイソックスです



▲女子のスラックスは2022年4月から導入。男子と同柄です。◀夏服正装。白いシャツ/ブラウスが爽やか！靴下は紺のクルー丈に。▶夏服のスカート柄アップ。やはり「TU」の刺しゅう入りです



2017

高校男女制服改定

● 2017年4月、学園建学75周年、浦安移転40周年を記念して、高校男女の制服を改定しました。

◀冬服正装。高校も左胸のエンブレムから「TU」の刺しゅうとなりました。▼スカートの柄アップ。紺ベースのチェックが冬、薄いブルーのチェックが夏。どちらも裾に青系の糸で「TU」の刺しゅうが入っています



▲夏服正装。左胸のポケットに入った紺のラインがアクセント。ボタンも紺色です。▶女子のスラックスは2022年4月から導入。男子と同柄です。中高ともに各種スカートと同柄のキュロットもオプションで購入可能ですが、スラックスの導入もあり、着用者はほぼ見掛けません



▶ネクタイには正装の紺と、オプションのエンジ色があります。男女とも着用可。リボンはなくなりました▼スラックスの柄アップ



▶生徒をモデルにしたキャラクターも存在。制服愛を感じます！



◀夏はオプションで白または紺のポロシャツの着用が可能。▶紺のニットセーターもあります



▶ブレザーのボタンは中高共通のデザインです



▲通学バッグ、リュック、▼サブバッグも中高共通



◀夏はオプションで、男子はブルーの半袖シャツ、女子はピンクのブラウスも。グレーのニットベストは女子のみ着用可。▶また、男女とも紺のポロシャツの着用が可能。中高・男女とも圧倒的に紺ポロの着用率が高いです！



❖ 15th meeting を終えて ❖
 正門を入ると広々とした明るい中庭が迎えしてくれる浦安高校・中等部。校舎を挟んで位置する総合グラウンドも広々、生徒さんの心も広々。校内で取材をしていると中等部の女子に話しかけられました。企画の趣旨を説明すると、「できあがったらぜひ読みたい」とのこと。わあ、嬉しい！その後の取材、なお一層気合いが入りました。次回もどうぞお楽しみに！

学校法人東海大学学園史資料センターでは、
学園と、学園に集った人々の足跡をたどる資料を収集しています。

各部署や学部学科、機関で保存期間の満了となった文書が発生した際には、当センターまでご連絡ください。

個人として下記のような資料をお持ちの方は、あわせて寄贈や移管のご協力をお願い申し上げます。

《受講・講義ノート、研究資料、書簡、手帳、日記、メモ、写真、記念品、機関誌など》

※このほか保管に困っている物品、資料になるか不明のものがありましたらご一報ください。

また、学園の歴史に関するレファレンスに応じています。

事項の時期や経緯の確認、記念誌の作成、パネル写真展の企画などの際は、お気軽にご相談ください。

資料提供者一覧

2024年4月～2025年3月

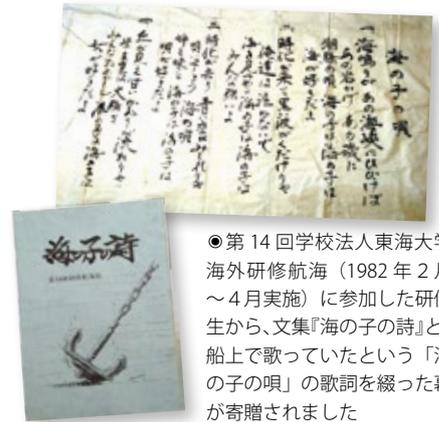
【個人】

浅香隆
蟹江あずさ
金子伸子
功刀玲門
小林一雄
櫻井糧
末石じゅん
鈴木きみ代
鈴木健吾
芹沢利尚
谷卓見
土井美智代
戸谷毅史
根岸仁
萩原伸介
村井正己
山田勲
山田清志
吉田厚子
【機関・団体】
東北大学史料館

日本郵船歴史博物館
学校法人東海大学
理事長室学園庶務担当
理事長室政策推進担当
理事長室学園校友担当
理事長室広報政策担当
病院本部病院運営企画室
東海大学
学長室質保証推進担当
学長室施設設備担当
学長室総務担当
学長室入試担当
学長室広報担当
学長室教学担当
ヒューマンソサエティカレッジオフィス
グローバルシチズンカレッジオフィス
メディカルサイエンスカレッジオフィス
スルガベイクレッジ静岡オフィス
キャンパスライフセンター
総合教育センター
医学部総合診療学系健康管理学
医学部付属東京病院

湘南キャンパス男子・女子バレーボール部
旧表千家茶道会
海外研修航海実行委員会
機友会（工学部動力機械工学科同窓会）
第14回海外研修航海研修生一同
旧東海大学医療技術短期大学
東海大学付属静岡翔洋高等学校・中等部
東海大学新聞編集部

順不同・敬称略
組織、部署等の名称は2024年度当時のもの



◎第14回学校法人東海大学海外研修航海（1982年2月～4月実施）に参加した研修生から、文集『海の子の詩』と、船上で歌っていたという「海の子の唄」の歌詞を綴った幕が寄贈されました

学校法人東海大学 学園史資料センター

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1
東海大学 湘南キャンパス 5号館2階

☎ 0463-63-4700（直通） FAX（利用を停止しました）

☎ 0463-58-1211（代表） 内線 2559

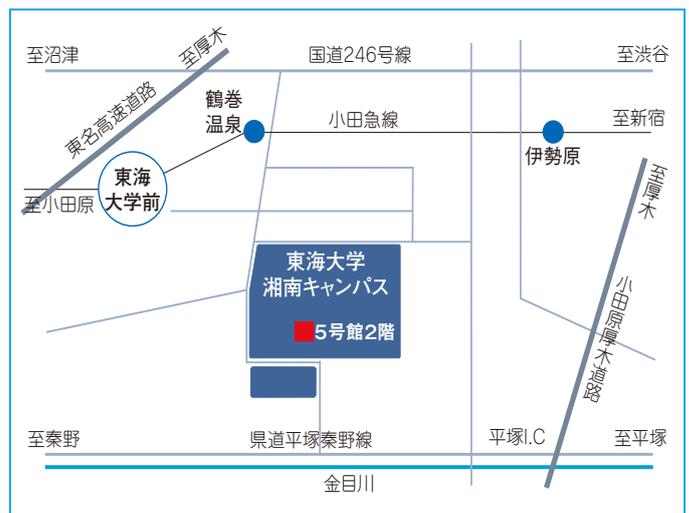
ホームページ <http://www.pr.tokai.ac.jp/gsc/>

メールアドレス shiryo-center@tokai.ac.jp

フェイスブック <https://www.facebook.com/TokaiUniversity.archives>

アクセス

- 小田急線「東海大学前」駅下車、徒歩25分
または神奈中バスを利用、「東海大学前駅南口」バス停から ◆「秦野駅」「下大槻団地」行で「東海大学北門」下車 / ◆「平塚駅北口」行で「東海大学1号館前」下車
- JR東海道線「平塚」駅下車、神奈中バス「平塚駅北口」バス停から
◆「東海大学駅前南口」行で「東海大学1号館前」下車
◆「秦野駅」「秦野駅南口」行で「東海大学正門前」下車



東海大学学園史ニュース No.20

Tokai University Educational System Archives News

2026年2月10日発行

編集・発行 学校法人東海大学学園史資料センター